



『新宿力』で創造する  
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和4年第1回区議会定例会  
新宿区長定例記者会見資料  
令和4年2月17日(木)

新宿区

事業名	ICTを活用した教育の充実	予算(案)の概要	73	ページ
予算額	令和4年度予算額 (前年度予算額)	935,397千円 919,620千円	(拡充)	
取材先	教育委員会事務局 教育指導課長 荒井 (電話 03-5273-3084)			

## 新宿区版GIGAスクール構想の取組み

### ■ 新宿区版GIGAスクール構想の理念

#### ポイント1 個別最適な学び

AI等を活用しながら、教師が一人ひとりの反応や学習の記録を確認し、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズや学習状況に合わせて提供される個別最適化された学びを推進します。

- ▶ デジタルドリルの活用

#### ポイント2 協働的な学び

児童・生徒一人ひとりの考え方を相互に共有するとともに、双方向の意見交換を行い、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びを推進します。

- ▶ 協働学習支援ツールの活用

#### ポイント3 学習機会の確保

災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての児童・生徒の学びを保障できる環境を確保します。

- ▶ 休校中のオンラインによる学習指導

### ■ 令和2年度に1人1台端末を配備

新宿区の現状や課題に合わせた新宿区版GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末を整備しました。

- ▶ 児童・生徒1人1台の端末整備
- ▶ 高速大容量の通信ネットワークを整備

#### ● 配備した端末

小学校・中学校

Microsoft製 **Surface Go 2**  
14,556台



特別支援学校・学級

Apple製 **iPad(第8世代)**  
346台



### ■ 新宿区版GIGAスクール構想における様々な課題

新宿区版GIGAスクール構想は、タブレット端末やシステム整備等の端末の導入期が終わり、各学校での授業や各家庭での自宅学習への活用促進が一層求められるフェーズへと移行しています。これに伴い、ICT機器等の活用により、**授業中の機器や操作に関するトラブル対応等**の新たな学校業務への対応や、**各学校の活用事例の共有等**の場面における課題が新たに認識されています。

各学校でのICT機器活用をより推進し、児童・生徒一人ひとりの個別最適な学びを充実させるためにも、新たな取組が必要です。

### ■ 【新たな取組】授業改善等に向けたICT支援員の巡回体制を拡充

○ ICT支援員の増員・巡回体制を拡充し、学校におけるICT機器の活用を促進します。

- ▶ 教員へのよりきめ細かい支援の実施
- ▶ 授業観察を通じたより具体的な助言の実施
- ▶ 各校における取組事例の共有を強化
- ▶ ICT機器を最大限に活用した子どもの生きる力を伸ばす授業改革を推進



#### ※ ICT支援員とは

学校における教員のICT活用(授業、校務、教員研修等の場面等)をサポートし、教員がICTを活用した授業等をスムーズに行うための支援を行うサポーター

#### 【現行】

小学校：月4回  
中学校：月3回  
1回につき半日程度

拡充

#### 【令和4年度以降】

小学校：月4回  
中学校：月4回  
1回につき**全日**程度

児童・生徒の個別最適な学び、  
協働的な学びの充実

児童・生徒が自己の学び方に合わせてタブレット端末を活用し、  
自ら学び、自ら考え、自ら表現する授業を目指します。

### ■ 新宿区版GIGAスクール構想の実現を目指して

- ・教育委員会は、ICT機器を最大限に活用し、子どもにとってより分かりやすく学習効果の高い授業を実現できるように授業改善を推進していきます。
- ・教育委員会は、区立学校の教職員がいつでも簡単に使用できるICT環境を提供し、学校情報ネットワークを円滑に運用していきます。